

まちだ下水道 2025年9月発行

GESUIDO通信

たまには
下水どう？

発行：町田市
編集：下水道部
下水道経営総務課
〒194-8520
町田市森野 2-2-22
TEL：042-724-4287
FAX：050-3161-6448

9月10日は下水道の日です。町田市の下水道の仕組みや役立つ情報などを紹介します。

No.11

下水道を安心・安全に利用するために ～下水道の適切な維持管理～

町田市では1964年から下水道の整備を始め、現在は1,675kmの下水道管が市内に広がっています。古くなった管をそのままにしておくと、壊れて下水が流れなくなったり、道路に穴が空いて車や人が通れなくなったりする恐れがあります。

すべての管を詳しく調べるには多くのお金と時間がかかります。そこで、優先順位を決めてから管の調査、修繕や更新を行う「ストックマネジメント」という方法で計画的に効率よく下水道施設を管理しています。

ストックマネジメントの手法

- ①管がつくられてからの経過年数などを基準にして、調査する優先順位を決めます。
- ②優先順位が高い管から、下水道管の状態を素早く調べる **スクリーニング調査** を行います。
- ③スクリーニング調査の結果をもとに、異常がある下水道管を詳しく調べる **詳細調査** を行います。
- ④詳しく調べた結果、壊れそうな下水道管について、修理する方法などを考えます。
- ⑤修理する方法が決まったら、計画的に工事をして直します。

下水道も健康
管理が大事
なんだケロ！

町田市下水道
キャラクター
「雨かえる」

1,675km って、町田市から
沖縄県の那覇市までをまっすぐ
に結んだ距離(約1,525km)
よりもさらに長いんだよ。

スクリーニング調査

下水道管の中に自走式カメラや浮流式カメラを入れて
壊れているところがないか調べます。1日に700mから
1,000mを安全に素早く調査することができます。
1年間で平均54kmを調査しています。



調査の様子



浮流式カメラ



自走式カメラ

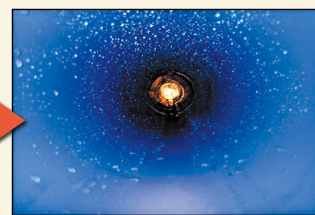
スクリーニング調査をした下水道管のうち、詳しい
調査を行うのは全体の15%くらいになるよ。
最初から全部を詳しく調査するよりも、35%くらい
お金を節約できると考えられるんだよ。

詳細調査

精度の高いカメラで下水道管の中を調査し、異常箇所がないか
確認します。異常箇所を見つけたら決められた基準にそって、
《修繕》、《改築工事》、《経年観察》に分けて対応します。



更生前



更生後

改築更新工事

異常が見つかった箇所は、地面を掘って新しい管と
取り替える「**布設替え工法**」や、古くなった下水道管
の中に新しい管をつくる「**更生工法**」により、しっかりと
補強することで、道路の陥没のような事故が起こら
ないようにするんだ。

下水道施設(下水道管・下水処理場)の 老朽化が進むにつれ、 これからもっとお金がかかってきます

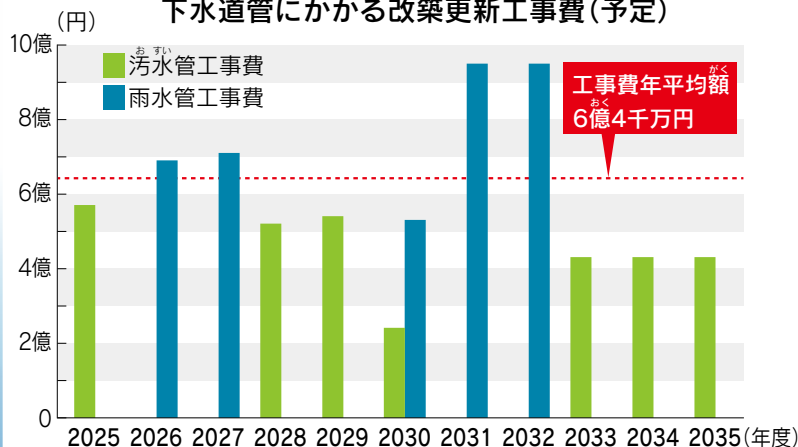
老朽化した下水道施設の計画的な維持管理を行っていく必要があります。
「町田市ストックマネジメント計画」に基づき、効率的に下水道管や
下水処理場の設備点検、調査、設計、修繕を実施しています。

安全・安心に下水道
を使っていくため、
下水道施設の維持管理は
必要だケロ！



問い合わせ
下水道整備課
☎042-724-4297
下水道管理課
☎042-724-4328

下水道管にかかる改築更新工事費(予定)



上のグラフは、2025年度から11年間でどのくらいお金が
かかるかを表しています。毎年3kmほど下水道管を新しく
したり、直したりしています。(改築更新工事)

雨水管は汚水管より太いので、費用も高くなります。

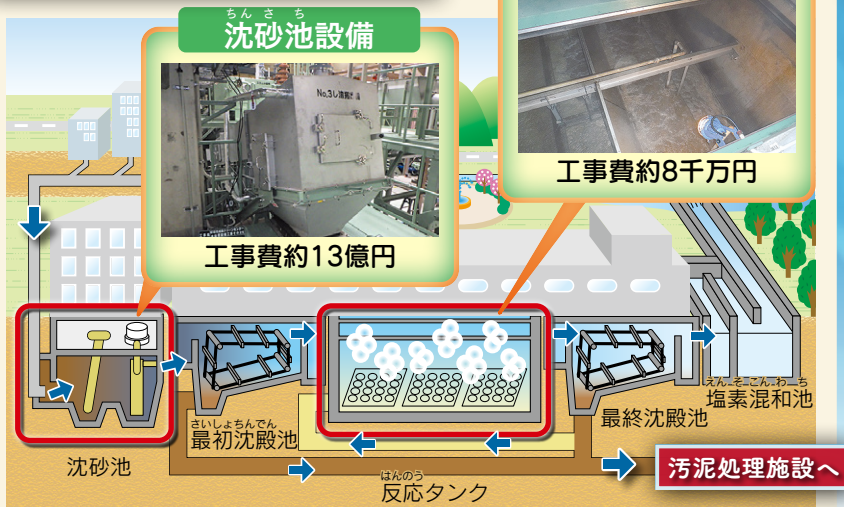
これまでに発行した下水道通信はこちらからご覧いただけます



下水処理場の老朽化・維持管理

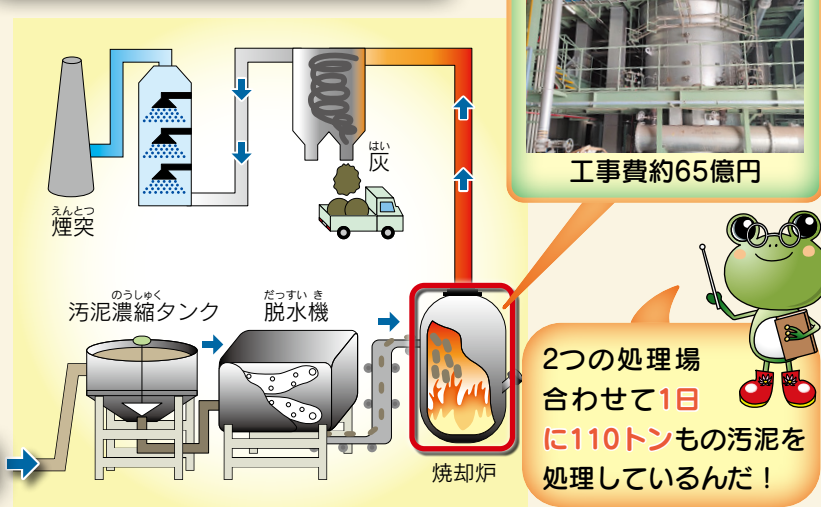
家庭や事業所から出た汚れた水は、汚水管を通り下水処理場まで運ばれます。下水処理場で処理を行いきれいにした水を、川や海に還します。町田市では、1977年(昭和52年)に運転を開始した成瀬クリーンセンターと1990年(平成2年)に運転を開始した鶴見川クリーンセンターの2か所の下水処理場があり、約3,000点もの機械や設備を休むことなく動かして、水処理と污泥処理を行っています。下水処理場においても、今後急速に機械や設備の老朽化が進むと予測されるため、計画的に詳細調査を行い、劣化状況や重要度に応じて工事や修繕を行っています。

水処理施設



水処理施設では、汚れた水に含まれるごみや土砂を取り除いた後、微生物の力を使って汚れをきれいにします。成瀬クリーンセンターでは2015年度に水処理設備内の散気装置(汚水进行处理するため、微生物の活動に必要な空気を反応タンクに送り込む装置)を高効率の新しい装置に交換する工事を行い、2021年度には沈砂池設備でごみを取り除く機械の工事を行いました。これからも計画的に更新工事を行っています。

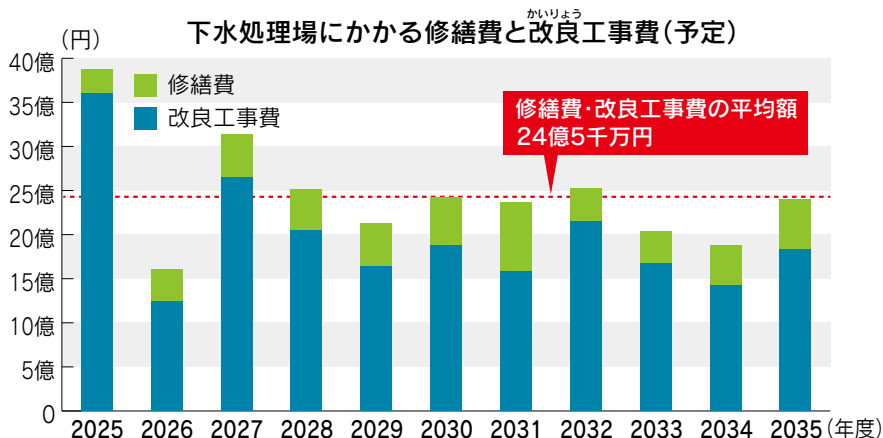
污泥処理施設



下水をきれいにするとき、たくさんの泥が発生します。その泥を「污泥」と呼び、脱水機で水分を絞り、焼却炉で燃やして灰にします。污泥を燃やして出た灰を、コンクリートの原料として再利用し、環境にも配慮しています。鶴見川クリーンセンターでは2021年度から2025年度にかけて、従来の標準的な焼却炉から、電力と温室効果ガスを大幅に削減できる次世代の焼却炉に替える工事を行っています。

下水処理場を維持するために必要なお金

右のグラフは、2025年度から11年間にかかるお金を表しており、この間で総額250億円以上かかる予定です。特に2025年度は、焼却炉を新しくする大きな工事があるためお金がかかっています。市では、機械や設備の劣化状況を調査して計画的に工事や修繕を行うことで、効率的に下水処理場を運営しています。



引き続き悪質な点検商法にご注意を!!

問い合わせ 下水道管理課 ☎042-724-4328

ご自宅の敷地内にある排水設備は、個人で管理するものです。そのため、市や市の委託業者がご自宅に訪問して、排水管の点検や清掃、修理をすることはありません。また、その費用を請求することはありません。よく確認せず契約すると、高い料金を請求されるトラブルになることがあります。必要ない場合は、きっぱりと断りましょう。

少しでも怪しい??と感じたら、

- その場ですぐに契約しない
- 名刺をもらうなどして、相手の業者名や連絡先を確認する
- 消費生活センターに相談する
(相談専用電話番号 TEL: 042-722-0001)
- 市と関連があると言われたら、市に確認する
(下水道管理課 TEL: 042-724-4328)



下水道のつまり・トラブルの時はこちらをご確認ください

下水処理場の見学に来ませんか?

問い合わせ
成瀬クリーンセンター ☎042-720-1825
鶴見川クリーンセンター ☎044-988-7101

市には、下水処理場が2か所あり、どちらも団体・個人での見学を受け付けています。

個人で見学する場合、微生物観察も追加できます。ぜひお越しください。



見学希望の場合はこちらをご確認ください

地図情報
まちだ



「地図情報まちだ」で
下水道情報を見よう

「下水道台帳図」(市が管理している汚水管・雨水管の地図)や「汚水供用開始区域」(トイレやお風呂・キッチンなどから出る汚水を下水道に流せる区域)が確認できます。



リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

まちだ下水道通信は、環境に配慮した紙やインクを使用しています。